

鹿児島西ロータリークラブ活動報告書

1999年7月～2000年6月

目 次

1. クラブ組織表
2. 会長報告
3. 幹事報告
4. 会員現況
5. 会員移動状況
6. 例会プログラム
7. 行事・会議実施状況
8. 出席状況
9. 寄付金状況
10. 委員会報告

会長 太原 春 雄

幹事 村 田 和 雄

鹿児島西ロータリークラブ

(1) クラブ組織

鹿兒島西ロータリークラブ理事・役員・委員会構成

1999.7～2000.6

(理事) 会 長	太 原 春 雄	(理事) 副 会 長	山 元 正 明
(理事) 幹 事	村 田 和 雄	(理事) 副 幹 事	川 平 建 次 郎
(理事) 直 前 会 長	海 江 田 卓	(理事) S A A	諏 訪 園 隆
(理事) 職 奉 委 員 長	竹 下 威	副 S A A	石 橋 渡
(理事) 社 奉 委 員 長	若 松 喜 八 郎	(理事) 会 計	岩 元 基
(理事) 新 世 代 委 員 長	鉾 之 原 大 助		
(理事) 国 奉 委 員 長	南 徹		

委 員 会		委 員 長	副 委 員 長	委 員		
ク	ク ラ ブ 奉 仕	山元 正明	古木 圭介	大平 重隆 野添 良隆 竹下 洋	水淵 清治 中國 雅治 深尾 兼好	松田 忠臣 染川 周郎
	会 員 増 強	大平 重隆	藤安 秀一	三角桂次郎 桜美 義明	小山 幸義	小園 正人
	会 員 選 考	水淵 清治	水流 洋	岩元 紀彦	玉川 哲生	田中 寛吉
ラ	職 業 分 類	松田 忠臣	坂元 明雄	木治屋克己	山下 皓三	
	出 席	野添 良隆	正 建二郎	池田勝一郎	東郷 三郎	中村 英幸
ブ	親 睦	中園 雅治	秋月 宗近	板木 泰文 江口 一 瀬戸口良一 藤 裕己 山本 広明 藤井 洋三 大山 康成	高橋 良明 上原 満 大浦 教一 有村 仁志 三宅 一男 西川 明寛 池田 千明	深掘 孝 和田 武弘 岩切 豊 川畑 宏二 鮫島 信一 串間新一郎 福島 徹郎
	ロータリー情報	染川 周郎	須田 正己	高山 義則	高井 敏治	江夏 洋
	会 報 ・ 雑 誌	竹下 洋	庵木 英雄	加藤 一徳	森永 茂樹	
	プ ロ グ ラ ム	古木 圭介	徳留 忠敬	有馬 敬男 海江田 卓	中嶋 健	福田 正臣
	広 報	深尾 兼好	桐明桂一郎	坂木 貞剛	福地 眞	
	職 業 奉 仕	竹下 威	田崎 一郎	山下 健	原田 隼男	中村 一雄
	ボ ラ ン テ ィ ア	福田 一郎	玉利 賢介	各副委員長		
社 会 奉 仕	若松喜八郎	榎田 浩典	山田 晴彬	田畑 勇	松田 健一	
新 世 代	新 世 代	鉾之原大助	福元 紳一	佐伯 壽郎	岩田 泰一	本田 亨
	ローターアクト	藤川 毅	天本 美信	諏訪園 勲	三反田藤男	
	インターアクト	日高 好久	樋渡 良一	新川 靖博	濱田 悦郎	
国 際 奉 仕	南 徹	長柄 英男	池口 恵観	江口 清隆	別府 洋	
ロ ー タ リ ー 財 団	永松 実夫	前田樹一郎	菅 富男	岩男 秀彦	小田代恵一	
米 山 記 念 奨 学 会	川平建次郎	柴山 一清	片平 可也			
ロ ー タ リ ー 賞 推 薦	山元 正明	竹下 威	若松喜八郎	鉾之原大助	南 徹	

地区ボランティア委員会委員長 高山 義則

地区新世代委員会委員 古木 圭介

(2) 会長報告

会長 太 原 春 雄

過ぎ去ってみればあっという間の1年でありましたが、振り返ってみると矢張り色々なことがありました。

カルロ・ラビッツァR I会長の指導方針「堅実、信望、持続」と井ノ上ガバナーの運営方針を基本に据え、わがクラブは会員増強と新世代育成問題を最重点目標として活動を開始しました。

四大奉仕部門に所属する各委員会は実によく纏まって活動され、それぞれに素晴らしい成果を上げて下さいました。

不況の嵐の続く中、会員増強はことのほか厳しい環境でありながら9名の新入会員を迎え得たことは特筆すべきことであります。

一方、定年退職、転勤等によるやむを得ぬ退会者も予想以上にありましたが、中でも忘れられないのは柴山一清会員と永松実夫会員のご逝去でありました。改めて哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りしたいと思います。

青少年問題については広報を兼ね、マスコミとの連携を期待して懇談会に臨みましたが、完全に期待を裏切られ、失望と、挫折の苦い経験をしました。昨今の17才台の少年達の想像を絶する凶悪な犯罪や暴走をみるときに暗澹たるものがあります。

然し、その一方でRYLAの大成功と、GSEにおけるわがクラブの大活躍があり、我らの心を十分慰めてくれました。

これら善意の輪が少しでも大きく広がってくれることを祈らずにはおれません。

(3) 幹事報告（クラブ概況報告）

幹事 村田 和雄

幹事の大役が全う出来るか大変不安なスタートでしたが、太原会長の的確な指示を戴きながら、又、事務局の優秀な2名の助けをかりながら、無事大過なく1年を過ごせたことに、感謝申し上げます。

私にとりまして、誠に楽しく、充実したロータリー生活の1年間でありました。私の人生のうちでも、特にすばらしい思い出に残る1年間であったと思っております。

この1年間、たくさんの思い出がありますが、特に、4つの事は深く心に焼き付いております。

日高インターアクト委員長が指揮された鶴丸高校での職業選択フォーラム、そしてGSEチームリーダーを南会員にお願いしたこと、銚之原委員長をリーダーに行なわれたライラ、加世田ロータリークラブ訪問等であります。

会員増強も、念願の100名が実現できました、西クラブは本当に良いクラブです。

次年度は、もっと良くなると思っております。

1年間を終わるにあたり、会員の皆様のご協力に重ねてお礼申し上げます。

(4) 会員現況 (平成12年6月30日現在)

会 員 総 数	95名	平均年齢	59.2才	
正 会 員	55名	最 高	81才	最低 35才
アディショナル正会員	0名	80代	3名	
シニア・アクティブ会員	40名	70代	10名	
パスト・サービス会員	0名	60代	34名	
		50代	28名	
		40代	18名	
		30代	2名	

(5) 会員移動状況 (入会者9名、退会者11名)

(自平成11年7月1日
至平成12年6月30日)

入会者氏名(君)	年齢	入会年月日	退会者氏名(君)	理由	退会年月日
鮫島 信一	64	H11. 7. 14	柴山 一清	一身上	H11. 8. 1
三宅 一男	47	H11. 7. 14	江口 一	転勤	H11. 9. 30
藤井 洋三	57	H11. 9. 8	東郷 三郎	健康	H12. 1. 31
本田 亨	62	H11. 10. 20	高橋 良明	転勤	H12. 3. 8
西川 明寛	57	H11. 12. 8	深掘 孝	"	H12. 3. 29
申間 新一郎	48	H11. 12. 22	永松 實夫	死去	H12. 5. 5
大山 康成	41	H12. 1. 12	福地 眞	職繁 務忙	H12. 6. 30
池田 千明	58	H12. 3. 8	新川 靖博	"	H12. 6. 30
福島 徹郎	49	H12. 6. 14	諏訪園 勳	退職	H12. 6. 30
			別府 洋	転勤	H12. 6. 30
			石橋 渡	"	H12. 6. 30

(6) 例会プログラム

月 日	メ イ ン プ ロ グ ラ ム
平成11年 7月 7日	クラブ協議会（方針・計画）
14日	「ヤジロウとベルナルド」 ザビエル上陸顕彰会副会長 門田 明氏
21日	インフォーマルミーティング（18：30～ 山形屋）
28日	○サンタローザ交換学生例会訪問 ○クラブ協議会（予算・決算）
8月 4日	クラブフォーラム（会員増強）
11日	「子育て支援」 会員 鮫島 信一君
18日	「情報革命」 会員 川畑 宏二君
25日	「日本文化デザイン会議 '99 鹿児島」 日本文化デザイン会議広報部会長 河井 達志氏
9月 1日	「環境保全型経営の時代」 かごしま地球村事務局長 塩川 哲郎氏
8日	クラブ協議会（公式訪問前）
22日	ガバナー公式訪問 クラブ協議会（14：00～16：00）
29日	クラブフォーラム（新世代）
10月 6日	クラブフォーラム（職業奉仕）
13日	職場訪問（中園久太郎商店） （優良従業員表彰）
20日	ファイヤ・サイド・ミーティング（観月会） 18：30～ サンロイヤルホテル
27日	「放射線障害と被ばく線量」 会員 川平 建次郎君
11月10日	クラブフォーラム（ロータリー財団）
17日	「あこがれのエベレスト」 会員 古木圭介君、上原満君、田崎一郎君
24日	クラブ協議会（地区大会報告）
12月 1日	「島津重豪と調所広郷について」 元鹿児島県歯科医師会会長 野添 武二氏
8日	年次総会
15日	クリスマス家族会 18：30～ サンロイヤルホテル
22日	「保険事情のうらばなし」 小牧保険事務所代表 小牧 二郎氏

月 日	メ イ ン プ ロ グ ラ ム
平成12年 1月 7日	市内RC新春合同例会 (12:30～ サンロイヤルホテル)
12日	「白内障-その治療の歴史-」 会員 有村 仁志君
19日	クラブ協議会(上期報告・下期計画)
26日	「起業30年(海外買出の話)」 会員 田畑 勇君
2月 2日	「“ヒマラヤ登山”に挑戦して」 会員 田崎 一郎君
9日	クラブフォーラム(国際奉仕委員会)
16日	「いつでも夢を」 米山奨学生 王 力明さん
23日	「仕事と教育」 脇本小学校教員 松寄 光雄氏
3月 1日	「土壌と地球温暖化」 鹿児島大学理学部助教授 大木 公彦氏
8日	「ドイツ今昔うつりかわり」 カトリック谷山教会 ハンマー神父氏
15日	第34回ロータリー賞贈呈式 小川 景一氏
21日	城西、サザンウィンドRCとの合同例会 (18:30～東急イン)
29日	「植物から見た桜島」 元鹿児島短期大学教授 理学博士 大野 照好氏
4月 5日	クラブフォーラム(会報・雑誌委員会)
12日	「歴史に見る日本人と地域」 鹿児島大学法文学部教授 原口 泉氏
19日	「人体復活」 会員 福田 正臣君
26日	「渚の生きものたち」 鹿児島大学理学部助教授 佐藤 正典氏
5月10日	クラブフォーラム(出席・親睦)
17日	クラブ協議会(地区協議会報告)
24日	「温泉・浴槽水等におけるレジオネラ属菌の検出状況について」 鹿児島県薬剤師会試験センター細菌検査係長 宮原 正浩氏
31日	「子供を元気にする野菜・果実」 会員 大山 康成君
6月 7日	「日産・ルノー資本提携について」 会員 藤井 洋三君
14日	「GSE研修の旅」 会員 南 徹君
21日	ファイヤ・サイド・ミーティング(18:30～ サンロイヤルホテル)
28日	クラブ協議会(活動報告)

(7) 行事・会議実施状況

月 日	行事・会議名	内 容
1999/07		
5日 月曜日	第 2 4 9 回 学 習 会	RIテーマ「活動は堅実、信望、持続」 19名
7日 水曜日	定 例 理 事 会	名誉会員の件 外
8日 木曜日	第19回プロバスクラブ例会	会員9名+ RC4名
14日 水曜日	臨 時 理 事 会	予算案の審議
1999/08		
2日 月曜日	第 2 5 0 回 学 習 会	会員増強・拡大月間 30名
4日 水曜日	臨 時 理 事 会	備品の件
5日 木曜日	第1回市内RC会長・幹事会	
11日 水曜日	定 例 理 事 会	次年度分区代理の件 外
18日 水曜日	臨 時 理 事 会	沖縄分区との友好盟約委員の件
	第 2 0 回 プロバスクラブ 例 会 合 同 例 会	会員8名+ RC18名+ RAC10名
25日 水曜日	会 長 経 験 者 会 議	市内分区代理を西クラブより選出
1999/09		
6日 月曜日	第 2 5 1 回 学 習 会	新世代のための月間 17名
8日 水曜日	定 例 理 事 会	休会会員承認の件 外
9日 木曜日	第21回プロバスクラブ例会	会員11名+ RC2名
10日 金曜日	報 道 機 関 と の 懇 談 会	サンロイヤルホテル RC10名+報道機関5名
19日 日曜日	市 内 分 区 ク ラ ブ 情 報 委 員 長 会	鴨池ACアネックス
26日 日曜日	西 RAC チャリティー フ リ ー マ ー ケ ッ ト	いづろドーム
29日 水曜日	会 長 経 験 者 会 議	分区代理の件
1999/10		
3日 日曜日	第 1 回 ゴ ル フ コ ン ペ	高牧CC
4日 月曜日	第 2 5 2 回 学 習 会	職業奉仕月間・ボランティア 16名
6日 水曜日	第2回市内RC会長・幹事会	

月	日	行事・会議名	内 容
1999/11	14日 木曜日	第22回プロバスクラブ例会	会長11名+RC3名
	1日 月曜日	第253回学習会	ロータリー財団月間・米山月間 12名
	3日 水曜日	鶴岡市, 鹿児島市兄弟都市 盟約30周年記念式典	
	10日 水曜日	定 例 理 事 会	台湾地震義捐金送付の件 外
	11日 木曜日	第23回プロバスクラブ例会	会員9名+RC2名
	13日 土曜日	第1回沖縄・鹿児島市内 分区友好盟約実行委員会	
19~21日	金~日曜日	地 区 大 会	鹿屋
1999/12	24日 水曜日	臨 時 理 事 会	GSEメンバーのホストクラブ承認の件 外
	1日 水曜日	第3回RC市内会長・幹事会	
		臨 時 理 事 会	次年度理事の決定 外
	5日 日曜日	第2回ゴルフコンペ	知覧CC
	6日 月曜日	第254回学習会	上半期を振り返って 11名
	22日 水曜日	臨 時 理 事 会	次年度地区GSE委員決定の件
2000/01	11日 火曜日	第255回学習会	ロータリー理解推進月間 17名
	13日 木曜日	第25回プロバスクラブ例会	会員9名+RC2名
2000/02	19日 水曜日	定 例 理 事 会	ライラ5月下旬に決定
	2日 水曜日	第4回市内RC会長・幹事会	
		臨 時 理 事 会	退会者年会費の件
	7日 月曜日	第256回学習会	世界理解月間・国際奉仕 17名
	9日 水曜日	定 例 理 事 会	沖縄分区との盟約式典参加旅費の件
	10日 木曜日	第26回プロバスクラブ例会	会員10名+RC2名
	12日 土曜日	I M	17名(ホスト東RC)

月	日	行事・会議名	内 容
	16日 水曜日	臨時理事会	入会の件
2000/03	29日 火曜日	新入会員のオリエンテーション	28名
	1日 水曜日	臨時理事会	ロータリー賞推薦の件
	6日 月曜日	第257回学習会	社会奉仕 12名
	8日 水曜日	定例理事会	ロータリー賞贈呈品決定
	9日 木曜日	第27回プロバスクラブ例会	会員12名
	15日 水曜日	臨時理事会	次期委員長決定承認
	29日 水曜日	新世代会議打ち合わせ会	
2000/04		会長経験者会議	40周年記念事業の件
	3日 月曜日	第258回学習会	ロータリー雑誌月間 12名
	5日 水曜日	臨時理事会	委員長構成の変更・ライラについて検討
	6日 木曜日	第5回市内RC会長・幹事会	
	12日 水曜日	定例理事会	新世代登録料・ライラ・有珠山噴火の義捐金
2000/05	16日 日曜日	クラブ会長エレクト研修セミナー	サンピアあいら
	1日 月曜日	第259回学習会	出席と親睦 18名
	7日 日曜日	第4回新世代の為に ロータリー会議	(ホスト・南RC)
	13日 土曜日	ボランティア活動	(ボランティア委員会) ゆうあい館
	14日 日曜日	地区協議会	加治木 17名
2000/06	20～21日(土～日)	第22回ライラ	(ホスト・西R・C) そうしん研修センター
	5日 月曜日	第260回学習会	一年間を振り返って
	7日 水曜日	第6回市内RC会長・幹事会 (新 旧)	
	25日 日曜日	第4回ゴルフコンペ	高牧CC

(8) 出席状況（毎月ガバナー事務所へ報告）

年	月	ホームクラブ出席率 (%)	訂正出席率 (%)
平成11年	7月	67.20	89.16
	8月	67.20	97.85
	9月	72.73	97.33
	10月	55.08	95.99
	11月	57.09	90.07
	12月	64.43	90.46
平成12年	1月	67.43	92.05
	2月	68.04	90.72
	3月	61.16	89.88
	4月	64.84	88.02
	5月	64.06	89.32
	6月	63.06	92.08
平	均	64.36	91.91

(9) 寄附金状況（本年度寄附者）

☆ ポールハリスフェロー

徳 留 忠 敬	日 高 好 久
藤 裕 己	福 元 紳 一
中 園 雅 治	川 畑 宏 二
南 徹	池 田 勝一郎
鮫 島 信 一	深 尾 兼 好
小田代 憲 一	秋 月 宗 近

☆ ベネファクター

故永 松 實 夫	菅 富 男
太 原 春 雄	

☆ 米山功労法人

竹 下 洋（竹下清蔵商店）

☆ 米山功労者

村 田 和 雄 片 平 可 也

☆ 米山ファンドフェロー

故永 松 實 夫

☆ 準米山功労者

岩 元 紀 彦	川 平 建次郎
山 元 正 明	

クラブ奉仕委員会報告

委員長：山 元 正 明

委員：(副) 古木 圭介・大平 重隆・松田 忠臣・野添 良隆
染川 周郎・竹下 洋・深尾 兼好・水渕 清治・中園 雅治

実 績

本期はクラブ奉仕委員会としては昨年7月に1回開いて、その後会長・幹事からの呼びかけで各委員が殆ど全員が参集して、担当する委員会の奉仕活動について協議したが、各委員会は委員長並びに委員の積極的な活動によって、西ロータリークラブの更なる活性化に向かって好ましい方向に前進していることは、喜ばしい実績と思う。

反 省

ロータリークラブの奉仕の理想の具体的な行動指針や会員相互の友愛と親睦、会員増強について各委員会相互の連絡と話し合いの機会を持つ様に努力すれば更に良かったと思う。

会員増強委員会報告

委員長：大 平 重 隆

委員：(副) 藤安 秀一・三角桂次郎・小山 幸義・小園 正人
桜美 義明

実 績

97名でスタートした本年度は最高102名の会員数となりました。

期首より期中は大巾増の勢いで増強になりました。転出による退会者がありました。しかし長年の目標だった、会員100名が今期達成できたことは良かった。我西クラブ会員さんは西クラブに熱き想いがあり増強に協力して下さったお陰様です。

熱き想いに感謝します。

反 省

未充填職業分類(衣食住)の農業、水産業が充填できなかった。

会員選考委員会報告

委員長：水 淵 清 治

委 員：(副) 水流 洋・岩元 紀彦・玉川 哲生・田中 寛吉

実 績

下期は3名(池田・大山・福島)の方を選考させて頂き、理事会に報告致しました。従いまして今年度は上期6名、下期3名、計9名の方に入会して頂きました。しかし、退会者が11名有りましたので結果としては、2名減となりました。

反 省

上期同様に会員拡大に努めましたが、入会の方は皆様の御功力により、まあまあの実績かと思いますが、どうしても、若干の退会者が出ますので、たいした実績も上げられず、反省致して居ります。

職業分類委員会報告

委員長：松 田 忠 臣

委 員：(副) 坂元 明雄：木治屋克己・山下 皓三

実 績

○新入会員9名

内訳 分類新設 3名

〃 充填 6名

反 省

職業分類上の未充填職業の分類表の作成について、心掛けつつも未完に終わった。

出席委員会報告

委員長：野添良隆

委員：(副)池田勝一郎・正建二郎・中村英幸

実績

1. 出席率を高めるスローガンを会場に昨年に続き掲示した。
2. 市内各クラブ例会日の予定を週報にのせてメイクアップをやすくした。
3. 欠席しがちの会員に対して、出席及びメイクアップ奨励の電話をした。
4. 会員の理解と認識を深めるため毎例会日までの出席率を発表した。
5. 地域大会、各協議会等への出席奨励をした。
6. 訂正出席率100%を2度達成した。
7. 優秀な出席記録を持つ会員に記念品を贈呈。

反省

例会出席は、RIの権利で、義務と誇りでもあり、出席する事が親睦と奉仕への出発点であり事を強調し、出席奨励を施したつもりだったが、一部の新入会員にメイクアップによる欠席補填の方法が徹底出来なかった。

新入会員に対する親睦の方法として、会員相互のディスカッションの場学習会、夜の例会の大切さを痛感した。

親睦委員会報告

委員長：中園雅治

委員：(副)秋月宗近・板木泰文・高橋良明・深掘孝

江口一・上原満・和田武弘・瀬戸口良一・大浦教一

岩切豊・藤裕己・有村仁志・川畑宏二・山本広明

三宅一男・鮫島信一・藤井洋三・西川明寛・串間新一郎

大山康成・池田千明・福島徹郎

実績

- ・楽しい例会の雰囲気を作るために、全員体制で受付及びニコニコボックスの披露の担当をした。ビジターに対しても気持ちよく参加できるよう気配りをした。
- ・クリスマス家族会を始め年4回の参睦会を実施した。クリスマス家族会では会長、幹事に率先して企画に参加していただき、会員、家族間の親睦を深めた。
- ・3クラブ合同コンペを始め年4回のゴルフコンペを実施し、親睦を深めた。
- ・日々のマスコミ報道に注意し、会員に関する報道があったときは共に喜びを分かち合うようニコニコボックスへの提供を促した。
- ・会員の持っているおすすめ飲食店や趣味の情報を互いに共有、活用できるよう、小冊子にまとめ、全会員に配付した。ご協力ありがとうございました。
- ・親睦、SAA合同の懇親会を年間数回持ち、委員会内の親睦を図った。

反省

- ・新入会員の方に、委員会メンバーとしての受け入れ体制が不十分で担当内容の説明が都度徹底されなかった。
- ・そのため受付、ニコニコの披露の担当を交代でして頂くようお願いしたが、全員には徹底できなかった。
- ・おすすめ飲食店はもっと幅広く件数を集めたかった。
- ・ゴルフは4回のうち1-2回は平日、又は土曜開催を検討しても良かったかと思う。

ロータリー情報委員会報告

委員長：染川周郎

委員：(副)須田正己・高山義則・高井敏治・江夏洋

実績

1. 恒例の「月例学習会」を国際ロータリーの月間テーマに準拠したプログラムで実施した。

特に、8月2日には第250回の記念学習会を竹下巖分区代理をお迎えして、35名の多数の会員の参加を得て行った。

2. 3月7日に「新入会員との懇談会」を、会長幹事各委員長ご参加のもとに実施した。

3. 新入会員の入会時に「入会時オリエンテーション」を実施した。

反省

新入会員に対する「入会時オリエンテーション」をもっと懇切にすべきであった。また、月例学習会への参加呼び掛けが不十分であった。

会報・雑誌委員会報告

委員長：竹下洋

委員：(副)庵木英雄・加藤一徳・森永茂樹

実績

1. 各委員会の役割、実績等を週報を通じて会員へ紹介した。

2. 他クラブの週報を掲示し紹介した。

3. 学習会の報告書の掲載をした。

反省

ロータリーの友、ガバナー月信等の記事の中で是非会員に読んでもらいたい記事の紹介が不足しました。

プログラム委員会報告

委員長：古 木 圭 介

委員：（副）徳留 忠敬・有馬 戦男・中嶋 健・福田 正臣
海江田 卓

実 績

卓話者の選考を各委員が月割りで分担し、時期に合った話題を提供することに努め、ほぼ所期の目的を達成できた。

卓話者の選択について当番委員の特徴も出ていて、バラエティに富んだものになったと思う。

卓話の回数は、合計24回あり、会員卓話11回、ゲスト卓話13回であった。

反 省

毎年ではあるが、例会行事や、委員会の報告の多い例会日には、卓話の時間が、当初の予定の30分とれないことがあった。

特にゲスト卓話者には気の毒に思うことがある。

また、卓話者や卓話内容の選択にもっと会員の希望も入れられたらと思う。

広報委員会報告

委員長：深 尾 兼 好

委員：（副）桐明桂一郎・坂木 貞剛・福地 眞

実 績

9月10日マスコミ土曜会（報道責任者クラス）との懇談会を実施、南日本新聞、日経新聞、KKB鹿児島放送各社の出席を得た。特に今年度はライラとの取り組みの開催で青少年問題にテーマを絞りマスコミ人としての意見を拝聴したが、例年になく議論が沸騰し意義ある会合となった。下期は、こういったマスコミとの良好な関係を生かしロータリーニュースの提供を図ろうとしたが実現せず申し訳なく思っているロータリー賞の報道依頼に関しては例年通り行なった。

反 省

ロータリー活動に対する地域社会の理解が得られていない現実を感じ、マスコミとのコミュニケーションによって広報を企図したがなかなか思う様にいかず怠慢を恥じる。

S A A 委員会報告

委員長：諏訪園 隆

委員：（副）石橋 渡

実績

ロータリーの例会場としてふさわしい品位を備えた設営を行った。

各会員の着席場所が固定化しないよう抽選による着席を頻繁に実施し、会員相互間の交流をはかった。

反省

着席場所については抽選だけでなく、他の方法も検討すればよかった。

終了時刻が定刻どおりいかない時があった。

職業奉仕委員会報告

委員長：竹 下 威

委員：（副）田崎 一郎・山下 健・原田 隼男・中村 一雄

実績

◎平成11年10月の職業奉仕月間には、職場訪問を行い、会員中園雅治さんの株式会社中園久太郎商店の本社工場の見学を実施し、加義照氏を優秀社員として表彰した。又、情報委員会主宰の学習会では職業奉仕のあり方等について話し合いをした。

◎平成11年11月にはインターアクト委員会主宰の職業選択フォーラムの手伝をした。鶴丸高校文科館ホールに多数の高校生が集まり盛況であった。

◎月例の最終週の「四つのテスト」の唱和は予定通り実施した。

反省

活動の大部分を10月の職業奉仕月間に充ててしまったため、日頃の活動が手薄になった感は否めない。日常生活の中での職業奉仕の実践方法について、プロジェクトを考えるべき点が不十分であったと反省している。

ボランティア委員会報告

委員長：福 田 一 郎

委 員：（副）玉利 賢介・古木 圭介・藤安 秀一・水流 洋
坂元 明雄・正 建二郎・秋月 宗近・須田 正己・庵木 英雄
徳留 忠敬・桐明桂一郎・田崎 一郎・榎田 浩典・福元 紳一
天本 美信・樋渡 良一・長柄 英男・前田樹一郎

実 績

鹿児島市手をつなぐ育成会（のぞみ学園）にボランティア活動をしている鹿児島ベンチャークラブの方々と合同で、ゆうあい館（心身障害者）で箸の袋詰めを致しました。わきあいあいの内に有意義な時間を過ごす事ができました。5月13日（土）

反 省

もっと、回数を増やすべきだったと思います。

社会奉仕委員会報告

委員長：若 松 喜八郎

委 員（副）榎田 浩典・山田 晴彬・田畑 勇・松田 健一

実 績

- ①8月18日 プロバスクラブ、ローターアクトクラブとの3世代合同懇親会実施
- ②3月15日 ロータリー賞の授与
小川 景一氏（44才）
- ③4月 2日 西駅前清掃実施（RACと協同）
- ④プロバスクラブ毎月例会出席（第2木曜日）

反 省

継続プログラムである社会福祉施設の訪問が実施出来ず残念であった、早目に実施計画を立案すべきだった。

プロバスクラブとの交流会では、考古歴史館の見学会等が実施され、プログラムの一つである人間尊重、活動支援は一応所期の目的は達成できた。

新世代委員会報告

委員長：鉾之原大助

委員：(副) 福元 紳一・佐伯 壽郎・岩田 泰一・本田 亨

実績

本年度は第22回鹿児島市内分区青少年指導者養成研修会の担当クラブとして、「21世紀を担う新世代」をテーマに、43名の青少年と50名のロータリアンの参加を得て、太原年度の重点目標の1つであった青少年問題に微力ながら協力できたと思う。

本年度の当初計画の青少年の活動及び会合に積極的に参加・協力する点は西ロータリークラブとして合格点をつけられると思います。またインターアクト・ローターアクト委員会の連携もうまくいったと思います。

反省

インターアクトの活動には職業選択フォーラムを通して参加できたが、会員増強への協力ではまだ不十分であった。

ローターアクト委員会報告

委員長：藤川 毅

委員：(副) 天本 美信・諏訪園 勳・三反田藤男

実績

1. ローターアクトクラブ例会の開催
毎月第一・第三木曜日 午後7時～9時 青少年会館（鴨池新町）で開催。
6月は、城西ローターアクトクラブとの合同例会として開催。
2. ローターアクトの意義・理解を深め、また会員数の増大、会員間の親睦を深めるためのキャンプとして11月13日から14日にかけて加治木町さえずりの森にて開催。
3. アクトデーとしてJR西鹿児島駅前の清掃作業（第一日曜日・午前6時半）、愛の聖母園訪問（第一日曜日の清掃作業後）
4. ロータリークリスマス会への参加。
5. JR西駅前の清掃作業を4/2（日）ロータリアン15名参加で行なった。
6. 西ロータリークラブがホストクラブで5月20日・21日開催されたライラへ積極的に協力参加した。

反省

8名でスタート6月末現在12名で活動しているが、もう少し会員を増強したかった。

インターアクト委員会報告

委員長：日 高 好 久

委員：(副) 樋渡 良一・新川 靖博・濱田 悦郎

実 績

平成11年 8月 宮崎35回年次大会 参加
9月 鹿屋クラブ協議会 ”
10月 職業選択フォーラム (鶴丸高校)
” ” お礼のあいさつ
平成12年○韓国ホームステイ2名参加 (鹿高)
6月 サンタローザ留学生, 各1名の2名参加
6月 8月の年次大会打合せ

国際奉仕委員会報告

委員長：南 徹

委員：(副) 長柄 英男・池口 恵観・江口 清隆・別府 洋

実 績

- 1) G.S.Eやサンタローザ友好協会青少年交換プログラムに通訳として協力。
- 2) 使い捨て葉書きをボランティア活動資金の一助として送付。
- 3) 海外のロータリクラブ例会に参加 (西オーストラリア州パース市パースロータリクラブ, メキシコの11のロータリクラブに参加)。
- 4) G.S.E.グループリーダーとしてメキシコは4160地区のグアナフアト州, ケレタロ州, ミチェラカン州へ5週間の研修 (5月6日~6月9日)
- 5) G.S.E.地区委員に任命される。
- 6) 月例学習会において, 国際ロータリーが奨励する国際奉仕の意義と西クラブができる国際奉仕についての意見交換会を行った。

反 省

委員の皆さんとのチームワークをもっと積極的に行い, 共に喜び合える国際奉仕活動を推進できなかった。

ロータリー財団委員会報告

委員長：永松 實夫

委員：(副) 前田樹一郎・菅 富男・小田代憲一・岩男 秀彦

実績

ロータリー財団への寄付として、個人寄付 (P11 参照)

クラブ寄付 14,616 \$

永松委員長の強い責任感と熱意に多くの方々のご理解とご協力をいただき、会員一人あたりの目標額110 \$ (実績148.2 \$) を達成する事ができました。この中には100万 \$ の食事12回。新入会員9名の寄付なども含まれております。

会員の皆様方に感謝申し上げます。

米山記念奨学会委員会

委員長：川平 建次郎

委員：(副) 欠貝・片平 可也

基本的事項：

- (1) 旧年度までは、わがクラブにおいて米山奨学会関係の作業を副幹事、ロータリー財団委員会、国際奉仕委員会等が分担していた。
- (2) 地区ガバナー事務所の呼び掛けに応じて、今年度、わがクラブにも「米山記念奨学会委員会」が設立された。
- (3) 地区には、「米山奨学委員会」と「米山募金委員会」があるが、わがクラブには、「米山記念奨学会委員会」のみである。
- (4) 委員会の任務は、「ロータリー米山記念奨学生の世話」と「財団法人・ロータリー米山記念奨学会への資金提供、即ち、クラブ会員への寄付の奨励」である。
- (5) 寄付には「普通寄付」と「特別寄付」がある。「普通寄付」はわがクラブにおいては、一人当たり年額3,000円として、半期毎に年額の半額を送付している。「普通寄付」以外が「特別寄付」であり、クラブ会員あるいは会員外から寄付されるものである。
- (6) 「特別寄付」は、あくまでも自主的な行為であるが、委員会としては、「特別寄付」を

奨励する。

下期報告：

- (1) 2000年4月、「ロータリー米山記念奨学生」が決定した。中華民国からの留学生で、37才の李孟賢（リ・モン・シャン）氏の世話クラブとして、わがクラブが指定を受けた。毎月、西クラブの例会に出席して貰い、クラブ会長から奨学金（月額150000円）を手渡している。李さんは、鹿児島大学大学院医学研究科生理学専攻（生化学第一・指導教官佐伯武頼教授）4年に在籍中で、2001年3月には博士号取得の予定である。米山カウンセラーとして、米山委員会委員長（2000年4～6月は川平建次郎、2000年7月～2001年3月は三反田藤男）が委嘱された。
- (2) 「米山」に関する情報を、例会や学習会、クラブ週報等を利用して、可能な限り会員各位に紹介した。
- (3) わがクラブの「普通寄付は、一人当たり年額3,000円」で、据え置きであった。
- (4) 「特別寄付」はロータリアンに限らず募集してもいいことになっているが、会員以外には、働き掛けていない。
- (5) 例会等において、個別に交渉して「米山・特別寄付」募金への協力を奨励した。その結果、年度内に会員7名の協力を得た。寄付金（総額108万円）は送金した。今年度の寄付協力者は、以下の7名である。
永松實夫 岩元紀彦 川平建次郎 竹下洋 片平可也 山元正明 村田和雄。